

「SyLPH」(シルフ)ブランド  
によるリヨセルの展開について

当社は、これまでリヨセル製品について原綿はもちろんのこと紡績糸、織物、編物にいたるすべてに「LYOCELL」および「リヨセル」の商標を使用してまいりましたが、この度新たに「SyLPH」(シルフ)ブランドを導入し強化拡大を図ります。

リヨセルは原綿の開発から 10 年という節目を今年迎え、販売体制の刷新などによる効果からさらなる世界的な規模での拡大が見込まれています。一方、「リヨセル」の一般名称化に伴い、ブランドネームとしての差別化が難しくなることが予想されます。

( 靴 13 年 8 月 20 日付「官報」3182 号 官庁報告 日本工業規格：繊維用語 )

ユニチカテキスタイルはリヨセルリーダーとしての自負から、クオリティコントロール(とオリジナリティー)を約束する証として「SyLPH」(シルフ)を立ち上げ一層の販売強化を図るものです。



「SyLPH」(シルフ)のコンセプト

やさしい風合い、心地いいタッチ、豊かな表現力、仕立て映えの良さ、どれもが衣料素材にとっては欠かすことの出来ない大切な要素です。それらすべてを満たした上で、新鮮かつ快適な着心地をもたらすこと。そして、あらゆる点でこれからの基幹素材、スタンダードとなりうる条件を満たしていること。それが「SyLPH」です。

リヨセル原綿のスタートから 10 年が経過し、進化を遂げた原綿から最新の高度ファブリケーション技術によって「SyLPH」は生まれます。その「SyLPH」の品質と幅広い展開を支えるのが、ユニチカテキスタイル「テキスタイルチェーン」です。各工程における連携と相互の情報フィードバックによる開発力、生産力の強化、そしてニーズに迅速に対応するクイックデリバリーも含めて、高レベルで安

定した品質の製品を提供できる体制が整えられています。また、これからの素材は環境に配慮されたものでなければならぬとユニチカテキスタイルは考えています。“自然の最新作”ともいえる「SyLPH」の原綿は計画植林されたユーカリの樹から作られています。そして原綿を作る工程で使用する溶剤のアミン酸化物でさえリサイクル使用されています。まさに「SyLPH」は、これからの時代に求められる新しいスタンダード素材といえるものです。

#### 「SyLPH」(シルフ)の物性と特長

「SyLPH」は原綿の持つフィブリル化に適した特性と高度の加工技術によって、フィブリルをコントロールし美しく滑らかなピーチスキンタッチのフィブリルタイプから、フィブリルを発現させないクリーンな表現のノンフィブリルタイプまで、さまざまな表情を生み出すことができます。

機能面では衣服内の快適環境を作る上で欠かせない吸湿性がコットンの1.5～1.8倍と高く、さらに、シワになりにくい、家庭での水洗いも可能、といったイージーケア性も備え、洗濯後の寸法安定性はコットン以上の物性値を示しています。また、耐アルカリ性に優れているため、良好な光沢と深みのある発色を実現し他素材との複合化にも適しています。

特長 鮮やかでキレイな発色

ハリのあるタッチ

肌にやさしいソフトな風合い

縮みにくく、シワになりにくい

しなやかなドレープ性

#### 各種ファブリックへの展開

パーマネントクリンプ構造と耐アルカリ性などの優れた物性、さらにユニチカテキスタイルの高い複合化技術力によって「SyLPH」は多彩な素材表現を可能にしています。コットン、ウール、麻などの天然素材からポリエステル、ナイロンなどの合成繊維、さらに生分解性素材「テラマック」まで、さまざまな素材との複合で、幅広く豊かな表現が生まれるばかりでなく、新たにリヨセルと他素材との混紡糸から生み出されるさまざまな表情が加わります。また、軽量性に優れた「マイクロアート」などの中空糸や「バイオリナー」といった抗菌素材などとの組

み合わせによって、高付加価値の機能性素材としての展開も進めていきます。

「SyLPH」(シルフ)の由来

**sylph**【silf】名詞 空気の精(ギリシャ神話、nymphニンフ、naiad水の精など)  
南米に生息するハチドリの総称(研究社新英和大辞典による)

「SyLPH」(シルフ)とは、『風の精、大気の精』の意味。また北米・南米を中心に300種以上分布する『ハチドリ(ハミングバード)』の総称でもあります。環境のきわめて良好な場所にしか生息しない、翼長3cmからスズメ大ほどのこの小さな鳥は、「自然」そのものを象徴しているといえるでしょう。

ユニチカテキスタイルが「リヨセル」という環境配慮型の繊維を使って、新たなファブリック作りを行うことの、理念、ロマンを表象する最も適切なネーミングであるといえます。

以 上

## ユニチカテキスタイル2002 / 2003 <ライヴテックス展>開催について

2002 / 2003 に向け、機能性とファッション性の両立を目指したコンフォータブルスパン素材「ライヴテックス」を企画・提案いたします。

ユニチカテキスタイルでは、現代のスタイルの流れに沿いながら、日常的なウェアリングの中に必要な、着心地感や機能性にこだわったテキスタイルを企画してまいりました。天然系の素材を基本にしながら、毎日の生活の中で気持ちゆとりやリラックスを感じさせてくれる性能をプラスしたマテリアルを御提案いたします。

特に今回は、新展開の「S y L P H (シルフ)」を中心に、ユニチカテキスタイル独自の差別化素材、及びユニチカと密接な取組関係にある「オールドス・カシミヤ」も併せ提案してまいります。

### **大阪会場**

- (日 時) 9月11日(火)、12日(水)、13日(木)  
10:00AM ~ 5:00PM
- (場 所) 御堂会館(南御堂) B1ホール(会場期間受付: 06-6251-5463)  
大阪市中央区久太郎町 4-1-11
- (問合せ) ユニチカテキスタイル株式会社 ニット営業第1部  
06-6253-7112

### **東京会場**

- (日 時) 9月19日(水)、20日(木)、21日(金)  
10:00AM ~ 4:30PM (最終日は3:00PM迄となります)
- (場 所) 繊維会館 7F会議室  
東京都中央区日本橋本町 3-1-11 (会場期間受付: 03-3241-7801)
- (問合せ) ユニチカテキスタイル株式会社 東京テキスタイル営業部  
03-3246-7744

出展素材数 (大阪) 約200点(ニット180点、織物20点)  
(東京) 約200点(ニット130点、織物70点)

招待予定先 問屋、商社、アパレル関係、200社(600名)

以 上

